

1. 協議会活動方針

会長 望月 雅光
創価大学

加盟大学および賛助会員の皆様

日頃より、本協議会の活動に多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、この度、総会でのご承認をいただき、小松川 浩 前会長の後任として会長の大役を拝命いたしました。皆様とともに本協議会の発展に尽力してまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻を賜りりますようお願い申し上げます。

現在、我が国の高等教育を取り巻く状況は、決して楽観できるものではありません。本年2月に公表された中教審の「知の総和」答申の冒頭は、「危機は今、我々の足下にある。その危機とは、急速な少子化をはじめとした国内外の諸情勢の急激な変化にほかならない。」から始まります。一方で、この答申は、この危機を高等教育機関の活動を強靭化し、社会全体の活性化を促す好機と捉えるべきだとしています。そして、我が国の「知の総和」を向上させる未来像を実現するため、「質 (Quality)」「規模 (Size)」「アクセス (Access)」という三つの目的 (価値) を追求し、高等教育システムを再構築していくことを求めています。

本協議会が推進する、ゆるやかな大学間連携は、このシステムの再構築に大きく貢献できるのではないかでしょうか。具体的には、e ラーニングに関する知見や優れた実践事例の共有、そして加盟校が開発した教材や加盟校が連携して開発した教材を共通基盤として利活用することで、教育研究の「質」の向上と、地理的・経済的な制約を超えた「アクセス」の確保への貢献が考えられます。

また、高等教育のデジタル化への貢献も、本協議会の重要な役割ではないでしょうか。これまででも教育 DX や、教育のあり方を大きく変える可能性を秘めた生成 AI の利活用を重要テーマとして取り上げてまいりました。

本協議会には、3 つの部会があります。それぞれ、今年度は、第一部会では、e ラーニングに関するシステムの構築・運用に関するノウハウの共有のためのイベントを開催予定です。第二部会では、加盟校のご協力により新しい教材を共通基盤において公開できるように準備を進めています。第三部会では、加盟校の特色ある事例共有に加えて、2012 年度から公立千歳科学技術大学を核として継続している 8 大学連携事業参加各大学がこれまで実践してきた事例を UeLA 総会・フォーラム 2025 において共有する予定です。今年度の UeLA 総会・フォーラム 2025 (2026 年 3 月 4 日 (水) ~5 日 (木)) は、信州大学国際科学イノベーションセンター (AICS) 2F にて開催します。

今後も最新の動向に注視しながら、この分野における知見の共有や共通基盤の充実を図るなど、協議会の運営に誠心誠意あたってまいります。

引き続き、よろしくお願い申し上げます。

2. 加盟組織一覧

会長	望月 雅光（創価大学）
代表幹事校	信州大学
事務局長	新村 正明（信州大学）
監査校	公立千歳科学技術大学、法政大学
会計	西尾 信大（大手前大学）
幹事校	岩手県立大学、愛媛大学、大手前大学、金沢大学、公立千歳科学技術大学、佐賀大学、信州大学、創価大学、長岡技術科学大学、法政大学、山梨大学
加盟大学	愛知大学、大阪大学、岡山理科大学、尾道市立大学、金沢学院大学、金沢工業大学、関西国際大学、畿央大学、九州工業大学、京都情報大学院大学、熊本大学、桜の聖母短期大学、札幌学院大学、札幌大学、湘南工科大学、仁愛女子短期大学、清泉女学院、中信金融管理学院、帝塚山大学、電気通信大学、徳島大学、長崎国際大学、長崎大学教育開発機構、八戸工業大学、兵庫医科大学、防衛大学校、北星学園大学、北海道医療大学、三重大学、武蔵野大学、明海大学、桃山学院大学、盛岡大学、酪農学園大学
賛助会員	一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸、NPO 法人コンソーシアム TIES、株式会社カルク、株式会社デジタル・エデュケーション・サポート、株式会社ナレロー、株式会社メイドインクリニック、公益財団法人日本漢字能力検定協会、こだまりサーチ株式会社、ユニコネクト株式会社

50 順位 加盟大学 45 校 賛助会員 9 社 (2025 年 9 月末現在)

3. 2024 年度 UeLA フォーラム・総会の報告

UeLA 事務局

1) 2024 年度フォーラム

2025 年 3 月 4 日・5 日、大手前大学にて「対面の学びを支えるオンラインとデジタルの活用学」をテーマにフォーラムを開催しました。

初日午前は、開催校主催による企業セミナーを開催しました。

午後には基調講演として、文部科学省高等教育局専門教育課の笠原誠幸氏（情報教育推進第一係長）および菊谷達也氏（同第二係長）より「DX の進展とデジタル時代における人材育成について」をテーマにご講演いただきました。

続く特別講演では、熊本大学 中野裕司氏より「学習支援用システムの学内設計指針と生成 AI の活用」、大手前大学 伊勢智彦氏より「大手前大学の e ラーニングにおける学習成果の分析と質保証」、創価大学 小澤潤氏より「学習成果の可視化と質保証～学修環境の改善と学修モチベーション向上～」、公立千歳科学技術大学 小松川浩氏より「オンラインを活用した数理データサイエンス教育の推進」について、それぞれご講演いただきました。

その後、創価大学 望月雅光氏の司会のもと、登壇者によるパネルディスカッションが行われ、活発な意見交換が展開されました。

2 日目午前は、第 2・第 3 部会主催により「新たな共通基盤教材：プログラミングの考え方・レポートの書き方の紹介」および、「日本語教育へのデジタル活用事例」について事例報告がありました。

午後には、日本リメディアル教育学会（JADE）ICT活用教育部会との共催による、JADE & UeLA 合同フォーラムが開催され、計 24 件（ポスター発表 6 件・口頭発表 18 件）の研究発表が行われました。

本フォーラムには 276 名の方にご参加いただきました。ご参加ならびにご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。なお、フォーラム予稿集および発表資料は下記のアドレスにて公開しております。

JADE&UeLA 合同フォーラム予稿集

<https://uela.jp/proceedings/>

2) 2024 年度総会

フォーラム同日（2025 年 3 月 4 日）、2024 年度総会が開催されました。審議事項、報告事項は以下の通りで、全て承認されました。

■ 審議事項

1. 決算について
2. 予算について
3. 規約の変更について

■ 報告事項

1. 会長の互選について
2. 事務局長の任免について
3. 幹事校について
4. 代表幹事校の互選について
5. 監査校の選出について
6. 部会長の選出について
7. 2024 年度加盟校・退会校
8. JADE&UeLA 合同フォーラム 2024 について
9. 共通基盤教材利用状況
10. 部会実施報告
11. 事務局業務実施状況

4. 協議会活動報告

■ 2024 年度

開催日	開催方式
2024 年 5 月 23 日 幹事会	Zoom
7 月 31 日 幹事会	Zoom
8 月 27 日 大学 ICT 推進協議会イベント（システム運用部会協力）	現地
8 月 27 日 幹事会	現地
9 月 27 日 幹事会	Zoom
10 月 22 日 事務局会議	Zoom

11月	15日	幹事会	Zoom
2025年2月	12日	事務局会議	Zoom
2月	21日	事務局会議	Zoom
3月	3日	幹事会	※ハイブリッド
3月	4日	2024年度総会	現地
3月	4・5日	JADE&UeLA 合同フォーラム 2024	現地

※ハイブリッド（大手前大学・Zoom）

■ 2025年度

開催日	開催方式
2025年4月 28日 事務局会議	Zoom
5月 19日 幹事会	Zoom
7月 23日 幹事会	Zoom
9月 8～10日 日本リメディアル教育学会第20回全国大会 (システム運用部会・コンテンツ教材共有部会協力)	現地
9月 18日 幹事会	Zoom
10月 27日 幹事会	Zoom

5. 部会活動報告・活動予定

1) 第一部会 部会長 山口 真之介（九州工業大学）

本部会では、e ラーニングに関するシステムの構築・運用に関するノウハウの共有を主な活動として、各種イベント等を行っております。

開催予定の企画・イベントについては、ホームページ「お知らせ」に掲載していくので、そちらをご覧ください。

その一環として、活動報告として「UeLA リメディアル教材を試用する Moodle 環境の構築入門」(2025年9月10日 13:20～14:50) を実施しました。

本企画では、日本リメディアル教育学会全国大会のセッション枠をお借りして企画セッションを行いました。セッションでは、現地参加者 16 名が自身の PC 上で Docker を利用して Moodle を立ち上げ、管理者として UeLA が提供するコースを展開し、レポートの書き方に関する教材を体験していただきました。

2) 第二部会 部会長 山川 広人（公立千歳科学技術大学）

本部会では、大手前学園学習サポートセンターのご協力のもと、大学初年次向けに論文型レポートの書き方を体系的に学べる教材を追加しました。

さらに、大学入学共通テストに新設された「情報 I」科目への対応も意識し、プログラミング的思考を伸ばす演習（科研費 20K03234・24K06420 の支援による研究成果）も公開しました。

これらの取り組みの一環として、共通基盤を導入している大学であれば、Moodle や Solomon を通じて利用できるよう整備しています。部会では、こうした教材の効果的な使い方を共有するとともに、引き続き各教育機関や研究プロジェクトのご協力を得ながら、教材共有・活用の仕組みの拡大を進めます。

3) 第三部会 部会長 日永 龍彦（山梨大学）

第3部会は第1・第2部会と連携して協議会加盟大学が提供し合うシステムや教材等を活用しながら教育実践に取り組み、そのノウハウや知見を協議会内で共有することを目的とする部会です。

その一環として、今年度からは、2012年度から公立千歳科学技術大学を核として継続している8大学連携事業のこれまでの実践を総括的に紹介していく予定です。この事業は当協議会がステークホルダーとして連携しており、共通基盤教材を活用した取り組みを各種行ってきました。

本年度はそのうち高大接続や入学前教育に関する実践に焦点を当て総会・フォーラム2025において紹介する予定です。

今年度も昨年度に引き続き、2012年度から公立千歳科学技術大学を核として継続している8大学連携事業参加各大学がこれまで実践してきた事例を、UeLA総会・フォーラム2025の際に共有できるよう準備を進めていきたいと思います。とりわけ今年度は共通基盤教材を活用した入学前教育の事例を中心にご紹介する予定です。

6. 2025年度フォーラム・総会について

1) JADE & UeLA 合同フォーラム 2025 趣旨

高校教育と大学教育の円滑な接続は、生徒・学生の学びを深化させ、未来社会で活躍できる人材を育成するために不可欠な課題です。

高校では、新学習指導要領に基づき「総合的な探究の時間」が導入され、生徒の思考力、判断力、表現力といった主体的な資質・能力を育む学びへと大きく転換しています。大学側でも学修者本位の教育を推進しており、この高校での主体的な学びを大学の初年次教育や専門分野の学びへと円滑に接続することが喫緊の課題です。

また Society 5.0 時代において、すべての国民がデータサイエンスのリテラシーを身につけることが求められており、大学では、文系・理系を問わず数理・データサイエンス教育の必修化や全学展開が進んでいます。この取り組みを実効性あるものとするためには、高校段階からの体系的な準備と、大学への円滑な接続が不可欠です。

e ラーニングやデジタル教材は、高校と大学の学びのギャップを埋め、学びをシームレスにする鍵となります。さらに多様な背景を持つ学生に対して、統一された質の高い基礎教育を提供し、個々の習熟度に応じた学びを可能にします。

本フォーラムでは、「生徒・学生の学びを深化させる初等中等教育と高等教育の円滑な接続」をテーマに、e ラーニングやデジタル教材が果たす役割について、実践例に関するご講演をいただくと共に、様々な知見の共有を図っていきたいと思います。

2) JADE & UeLA 合同フォーラム 2025 概要

- 日時 2026年3月4日（水）、5日（木）

会場	信州大学 長野（工学）キャンパス 国際科学イノベーションセンター（AICS）2F（現地開催）
テーマ	「生徒・学生の学びを深化させる初等中等教育と高等教育の円滑な接続」
内容	基調講演： 調整中 特別講演1： 調整中 特別講演2： 信州大学 工学部 （仮タイトル） 「信州大学工学部における入学前教育の取り組み」 事例報告1： 第二部会 事例報告2： 第三部会 総会

7. 共通基盤のご案内

1) 共通基盤システム活用のご案内

協議会では、文部科学省の補助事業で行っておりました大学間共同教育連携事業の成果を引き継ぎ、本協議会会員向けサービスとして、基盤教育向けの e ラーニング教材の共同利用を開始しました。初年次教育等にむけた汎用的な教材の整備と共有を狙っており、数学（中学・高校・大学初級）、日本語、英語、情報、SPI 対策、レポートの書き方、プログラミングといった科目を提供しています。会員大学は、試験利用期間（1年間）は無料で、本格利用に際しては年間 7 万円で、どの科目でも利用可能としています。

詳細は、協議会ホームページ内の特設サイトをご覧ください。

<https://uela.jp/system/>

2) 大学間連携 FD 研修 要請のご案内

協議会では、ICT を活用した FD 研修やシステムに関する利用説明に対する、大学間の調整を行っています。

上記の共通基盤を活用した事例の紹介、入学前教育の実践事例、反転学習の取組み、また、Moodle の運用方法等、連携大学が提供可能な情報について、講師派遣の形で、各大学の FD 研修などに派遣をいたします。

協議会 HP の「視察・講師派遣」ページをご覧いただき、ご興味のある大学は、UeLA 共通基盤問い合わせ窓口 kiban@uela.jp までご連絡ください。

「視察・講師派遣」ページ：<https://uela.jp/visit/>

8. 入会のご案内

当協議会は、日本における e ラーニングを先導的に推進している大学が集まり、教育・運用方法に関する知識交流を図りながら、緩やかな大学連携の在り方を検討していくことを目的とし、2009 年 2 月 6 日に設立をいたしました。

お陰様をもちまして、加盟組織も 54 機関（2025 年 9 月末現在）となり、今後も当協議会の目的である、e ラーニングに関するノウハウ（知識）や、教育方法と密接に連携した FD の取組などを積極的に公開し、e ラーニングを活用した効果的な授業展開や新たな教育方法の確立を目指すべく、協議会運営を行って参りたいと考えております。

つきましては、部会の活動紹介ならびに本協議会規約をご覧頂き、加盟についてご検討頂けましたら幸いでございます。

なお、加盟を希望される場合は、加盟申込ページ <https://uel.a.jp/membership/application/> のファイル提出フォームより、「大学 e ラーニング協議会 加盟申込書」をご提出頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

9. 事務局からのご案内

1) 会費納入のお願い

2024 年度および 2025 年度の会費未納の組織は、納入をよろしくお願ひいたします。

■ 振込口座

銀 行 名： 三井住友銀行
支 店 名： 西宮支店（店番 370）
口座番号： 普通 8954271
口座名義： ダイアクリティカル キヨギ カイカイヨウ コマツガワ ヒロシ
大学 e ラーニング協議会 会長 小松川 浩

※銀行口座の代表者変更手続き中のため、前会長名義となっております。
変更手続きが完了いたしましたらお知らせいたします。

2) 加盟大学および賛助会員イベント案内

加盟機関主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する機関は事務局までご連絡ください。

協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニュースレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

大学 e ラーニング協議会ニュースレター NO.27

発 行：大学 e ラーニング協議会 事務局
発 行 日：2025 年 10 月 31 日
お 問 合 せ：office@uel.a.jp